



CONTENTS

- 1頁 ・清寿苑 敬老会
- 2頁 ・初参加のふれあい祭り
・なら清寿苑 夏祭り
- 3頁 ・フラダンスショー
・エバーライフ縁日・花火
- 4頁 ・第8回「秋の作品展」開催決定!



第104号 ふれあいの里

〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者: 鉄村 信治

編集: ふれあいの里広報委員会

<http://www.fureai-net.com/>

～清寿苑 敬老会～ 並河健天理市長・大橋天理市議会議長来苑



※写真は天理市役所より提供

例年より夏の終わりを早く感じた平成26年9月4日、今年は前職の南市長から市政を託された並河天理市長と大橋市議会議長を迎えて恒例の敬老式典が介護老人福祉施設清寿苑で開催されました。

大勢の利用者様が3階ホールに集まれる中、市長と議長からは皆様の長寿のお祝いと労いの言葉を頂き、皆様少し緊張した表情を浮かべながらも頷いたりしながら真剣に話に聞き入っておられました。又、お祝いの品として地域で作られたジャムとゼリーを贈呈される際は市長や議長の方から気さくに歩み寄られ、受け取られた方と笑顔で記念撮影をされていました。

(清寿苑 鷺尾 元康)



※写真は天理市役所より提供

健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL(日常生活動作)改善とQOL(生活の質)向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

祭 初参加のふれあい祭り ～阿波踊りでの提灯持ち～

ある日突然、館長から「ふれあい祭りの踊りに参加してもらえますか?」と問いかけがありました。踊りが苦手な私は断りたい気持ちでいっぱいでしたが、ふれあいの里の一員として参加を決意しました。

練習に参加し、数日が過ぎて少しずつ踊れるようになり、踊りが楽しくなってきた頃、まさかの展開が私を待ち受けていました。

なんと、提灯持ちに選ばれてしまったのです。あまりの大役に戸惑いを隠せませんでしたが、腹をくくり、更なる練習に励みました。



いざ祭りが始まり、様々な施設を訪問する中で手をたたいて喜んでくださる方、一緒に踊って下さる方々、目を輝かせて



楽しんで下さっている方々の姿を目の当たりにし、人と接することの楽しさを改めて感じる事ができました。

今でもその光景を鮮明に覚えています。

今回体験できたことは私にとって大きな経験となりました。これからも何事にもチャレンジし、経験を積み、楽しんで頂ける介護を目指して頑張っていきたいと思えます。

来年ですか?もちろん喜んで踊りますよ!!

(ケアハウスふる里 露田 剛)



利用者様にたくさん楽しんで いただいた、なら清寿苑夏祭り

今年もなら清寿苑の夏祭りがありました。

ケアハウス、グループホーム、特養等の利用者様が参加されて今年も楽しく行うことができました。出店では、焼きそばやポテト、たこ焼き、ゼリー、また溶けないように工夫されているアイス等があり、好きなものを自由に選んで食べておられたり、施設に持って帰ってゆっくり食べられたりとそれぞれですがみなさん、「おいしい」とおっしゃりながら食べておられました。

また、おかわりをされる方もいらっしゃいました。

ジュース等も豊富に提供していて、ノンアルコールのビールもありました。

冷たくておいしいとの声もあり、良かったです。

その他には、カラオケや当て物等もありました。カラオケでは好きな歌を選曲し、昔の歌を歌っておられました。機能回復訓練室で行ったのですが、いっぱいになるぐらいたくさんの利用者様が集まっておられ、歌ったり、懐かしそうに聴いておられる姿もありました。特にケアハウスの方や歌が好きな方はたくさん歌っておられ、楽しそうにされていました。

エレベーターを降りたすぐ近くには当て物や簡単にできるように考えたボールを輪の中に入れるゲームもあり



ました。普段使える物から可愛いぬいぐるみまでたくさんの景品が用意されていて、貰った方などはすごく喜ばれていました。手の動かす事が困難な方でも職員がついている為、一緒に行き、参加することができました。真剣に当て物をしている姿などがあり、ほとんどの方が景品をもらう事ができて施設に持って帰っても大事に使われています。

今年の祭りも無事に終わることができ、またいろいろな交流を持つことができました。祭りの雰囲気が出るように飾り付けもして、より夏らしく感じる事が出来たと思います。

たくさんの利用者様に楽しんでいただき、職員も楽しみながら行うことができました。また来年も楽しめるようにしていきたいと思えます。

(なら清寿苑 特養 名村美帆子)



華麗なフラダンスショー

8月の行事は真夏を意識し、西2階病棟職員とリハビリの先生方が膚フラガールとなって踊るフラダンスをメインとして行いました。患者様に喜んでいただけるように、本番2ヶ月前から週1回集まり、一生懸命練習を行いました。その甲斐もあり、当日は「きれい」や「かわいい」などの言葉を患者様やそのご家族様よりたくさんいただくこ



とができました。

その後の男性職員中心で行った「エビカニクス」も、患者様も一緒に手を動かし踊ってくださったりと楽しく過ぎて頂くことができました。

スイカ割りでは患者様に目隠しをして竹刀を持っていただき、周りの患者様のかけ声を頼りにスイカを割って頂きました。最後は職員も参加し、盛大に盛り上がりました。

(奈良東病院 西2階病棟 山下 真一)



エバーライフの縁日・花火

夏を締めくくる「ふれあい祭り」の前に、エバーライフでは夏の恒例行事を2つ催しています。今回はその2つの行事、7月の「縁日」と8月の「花火」を紹介したいと思います。

7月に行われた「縁日」は、軽快な祭り囃子の中、「射的」や、「おもちゃ釣り」、「たこやき」、「チョコバナナ」などの屋台がにぎやかに並びます。

入居者様は童心にかえて遊んでおられるようでした。

8月の「花火」は、エバーライフの玄関前ロータリーが花火会場となり、夏の夜を楽しんでいただく行事です。夜7時を過ぎ、辺りがほの暗くなってきた頃から、打ち上げ



花火、吹き上げ花火などにぎやかに上げていきます。クライマックスは、「ナイアガラの滝」と言われる仕掛け花火です。職員総出の作業で、一番緊張する瞬間ですが、うまく点火するとさらさらと流れ落ちる火の粉が光の滝を創り出し、見とれるほどの美しさです。ナイアガラの滝を堪能した後は、入居者様自身に手持ちの花火を楽しんでいただきました。

どちらの行事も季節を感じながら入居者様同士、また職員との親睦を深める大切なイベントです。来年の夏も趣向をこらして皆様に楽しんでいただける行事を考えていきたいと思っています。

(エバーライフ サービス課)

ふれあいの里

第8回

『秋の作品展』開催が決定!



今年で8年目となりました、『ふれあいの里 秋の作品展』を、平成26年11月1日(土)から11月30日(日)の間で開催させていただくことになりました。

夏が終わり、空もますます秋らしくなってきました。今年も「毎年、秋の作品展を楽しみにしている」「今年も開催

しますか?」というお声をいただいております。

今年もふれあいの里利用者の皆様からのたくさんのご応募を心よりお待ちしております。

なお、募集要項は下記のとおりです。



〈展 示 日〉 11月1日(土)～11月30日(日)
 〈展示場所〉 奈良東病院内
 〈申込期間〉 10月6日(月)～10月21日(火)
 〈応募資格〉 ふれあいの里施設群のいずれかで
 入院、通院、入所、通所されている方

〈応募規定〉 ①書道(半紙1枚以内)
 ②絵画・ちぎり絵(4ツ切1枚以内)
 ③自由作品(陶芸・編み物・人形等)

〈応募数〉 展示数に制限はありませんが、掲示場所に限り
 がありますので応募多数の場合は掲示できない
 可能性がありますので、予めご了承下さい。

Tel.0743-65-1771 (奈良東病院 総務課内:内線332・333)

編集後記

今年も猛暑の夏が終わり、すがすがしい秋を迎えました。私自身感じたことですが、ここ数年の夏から秋への移り変わりと比べますと残暑があまり厳しくなかったように思います。例年であれば9月、そして10月に入りましてもまだまだ暑い日々が続く、急に涼しくなり、程なくして寒くなるというような感じだったように思われるのが、今年は秋らしい日々が続いているというように感じられます。久しぶりに四季の移り変わりをはっきりと認識できる秋ではないでしょうか。

秋と言えば、読書の秋、芸術の秋、運動の秋、食欲の秋と様々な秋がありますが、皆様はどのような秋をお過ごしになりますでしょうか。本がお好きな方は秋の夜長に読書、絵がお好きな方は紅葉を描画、日頃運動不足の方は涼しくなったこの時期にランニングなど、そして秋は美味しい食べ物がたくさん出てきます。皆様それぞれの秋を楽しんでいただければと思います。

上記にもお知らせしておりますが、今年も奈良東病院では『秋の作品展』を開催いたします。芸術がお好きな方、それから普段なかなか芸術に触れる機会がない方、どんな方でもお楽しみいただけたらと思います。この機会に秋の情緒を感じながら鑑賞されてはいかがでしょうか。

秋が終わりますと次は冬へと移り変わってまいります。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。体調にも気をお配りいただき、季節の変化を感じていただければと思います。

(広報委員長 橋本 重之)

